新型コロナウイルス感染症に伴う
大会・イベント開催に向けてのガイドライン

第３版

作成日：令和２年８月６日

CLUB J.

当社は、スポーツ庁などの発表を受け、標記ガイドラインを作成しました。

開催に際しては、開催地の都道府県の方針に従うことが大前提となります。また感染拡大予防のために必要な取組もあり、競技特性に応じた感染拡大予防対策を講じて参りたいと考えております。

1　参加者が遵守すべき事項

- **以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること（利用当日にWEBで確認を行う）**
  - 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
  - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- **マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）**
- **こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること**
- **他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ２m以上）を確保すること**
- **イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと**
- **感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと**
- **イベント終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること**
- **イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること**

２　参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
  - 運動・スポーツをしていない場合も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること
  - 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰を吐くことは極力行わないこと
- タオルの共有はしないこと
- ドリンク等の回し飲みはしないこと（個人専用を用意する）
- 飲み切れなかったドリンク等は指定場所以外に捨てないこと

３　アルティメット 競技特性上の留意点（移動／宿泊）

□ 移動

- 公共機関を使って来場する場合、乗った電車やバス等（出発時刻・経路等）を記録すること
- 自家用車を使って来場する場合、極力３つの密を避けて同乗者を記録すること
- 貸し切りバスを使って来場する場合、バス会社の利用方針に則り、同乗者を記録すること

所属団体（学校等）から使用許可が出ていることを前提とする

□ 宿泊場所

- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ミーティング等は行わない
- 宴会等は行わないこと

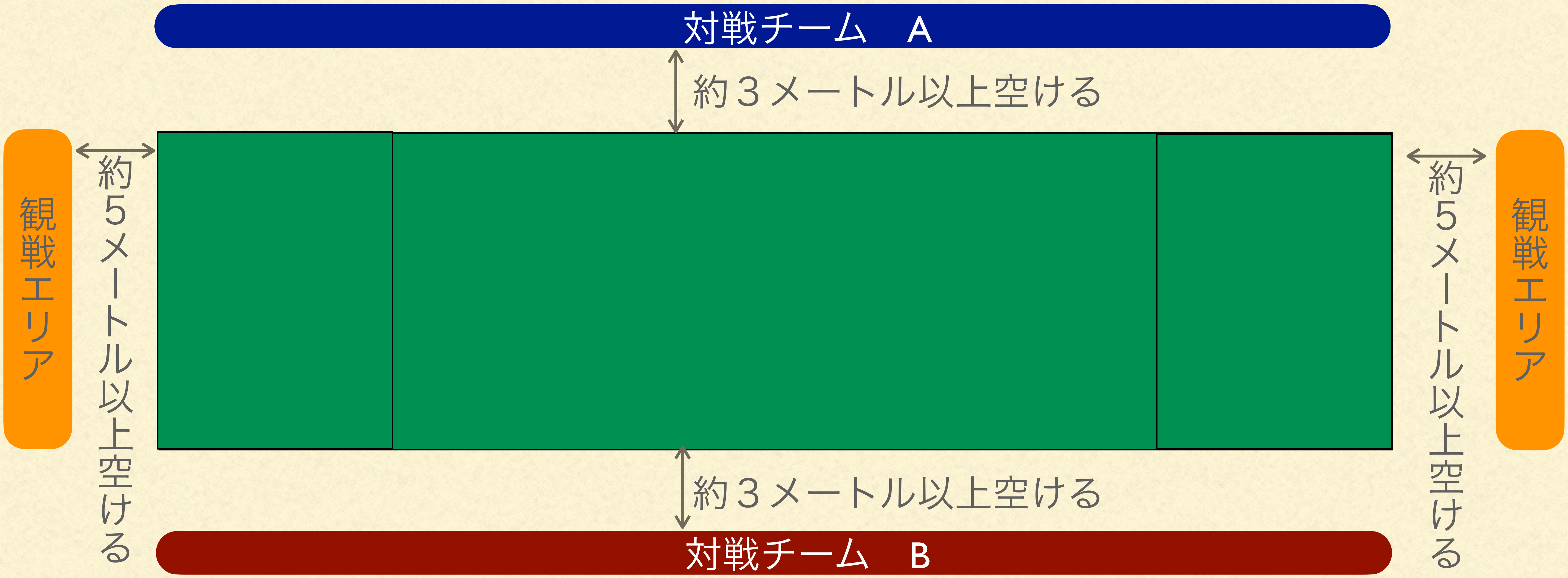
４　アルティメット 競技特性上の留意点（試合中）

- **マスクやネックチューブ等で口を覆い、飛沫感染防止を行う**（推奨）
  ＊夏場マスクの使用時は、熱中症のリスクが高くなりますので、水分補給をこまめに行ってください
- **ゲームディスクを触る際は消毒作業を行ってから使用する**（グローブを着用している場合も消毒作業を行ってから使用する）
- **唾や痰を吐くことを極力行わない**
- **握手・ハイタッチは行わない**
- **ユニフォームの着回しは行わない**（ビブスの貸出しは中止）
- **ジャグ等を用いての、ドリンクの回し飲みは行わない**（個人専用を用意する）
- **戦術的な指示を除き、大きな声での応援等を控える**
- **時間や得点の管理は、各チームで行う**（各コートにストップウォッチ、得点板は設置しない）
- **試合後整列は行わず、両チーム代表者のみで試合結果等の確認を行う**（マスクを着用しソーシャルディスタンスを確保する）
- **スコアシートは、本部に持参せずWEBにて入力を行う**~~(現在構築中)~~

5　アルティメット 競技特性上の留意点（待機中）

- マスクを着用すること
- ミーティングを行う場合、密にならないように心がけること
- 試合結果、次戦の確認はクラブジュニアスコアサイト（WEB）で行うこと（本部にて結果の掲示は行わない）
- 他チームとの接触は極力行わず、接触を行う場合は、ソーシャルディスタンスを確保すること
- テント等で待機する場合は、できるだけ他人との距離を保って待機すること（各チームテントの持参を推奨）
- 他チームの試合を観戦する場合、エンドラインから行うこと（サイドラインは試合中の選手のみとする）
- 食事を行う場合、向かい合って行わず、会話を控えること
- トイレや公共の場所を使用する場合、使用前後に必ず手洗いや手指消毒を行うこと
- ゴミは全て持ち帰ること

６　アルティメット 競技特性上の留意点（コート図）



対戦中の選手（フィールド外）及び観客者はソーシャルディスタンスを確保すること

７　アルティメット 競技特性上の留意点（開会式・閉会式・表彰式）

- 開会式は行わない

- 閉会式は行わない

- 表彰式

・表彰チームのみ参加すること

・集合のタイミングは各チーム別々とする

８　ディスクゴルフ 競技特性上の留意点（移動）

□　移動

- 公共機関を使って来場する場合、乗った電車やバス等（出発時刻・経路等）を記録すること
- 自家用車を使って来場する場合、極力３つの密を避けて同乗者を記録すること
- 貸し切りバスを使って来場する場合、バス会社の利用方針に則り、同乗者を記録すること

所属団体（学校等）から使用許可が出ていることを前提とする

CLUB J

９　ディスクゴルフ 競技特性上の留意点（競技中）

- 開会式・閉会式は行いません。プレイヤーズミーティングのみソーシャルディスタンスを確保しながら行います。
- ラウンド時、待機中は、可能な限りマスクを着用すること
- パーティーは、4名以下にすること
- お互いにソーシャルディスタンスを確保すること
- 緊急時以外の大きな声での発声は控えること
- 自分の用具以外は触れないこと
- タオルの共有は、行わないこと
- スコアカードの記入は１人で行い、スコア確認後のサインは省略すること
- 握手ハイタッチ等、他人との接触を避けること

１０　費用について

□　参加費

開催は「大会・イベント開催決定フローチャート」に基づき決定いたしますが、大会１ヶ月前頃までに一度開催するか否かを事務局で行います。このタイミングで**「開催」**することが決定した場合、参加費をお支払いいただきます。その後フローチャートに記載されている状況になり、**「中止」**の決定を行った場合は、参加費は諸経費を除いた分のみ返金させていただきます。

□　宿泊費（宿泊を伴う場合のみ）

宿泊の手配を行う旅行会社のポリシーに則ってお支払いいただきます。詳しくは旅行会社までお問い合わせください。

１１ 大会までの流れ（アルティメット）

時期	流れ	宿泊を伴う場合
約９０日前	開催要項　公開	
約３０日前	開催についての判断	
約３０日前	参加チーム確定	宿泊手配依頼書　提出（WEB）
約２０日前	参加メンバー確定	
約１４日前	最終案内　公開	宿泊申込書　提出（郵送）
	健康チェック開始（検温等）	
約１０日前	参加費　振込締切	宿泊費　振込締切
	大会	

参加賞については、開催終了後代表者に一括で発送いたします。

１１ 大会までの流れ（ディスクゴルフ）

約４０日前　開催要項　公開

↓

約２０日前　開催についての判断

↓

参加者募集締め切り

約１５日前

↓

参加者確定連絡

↓

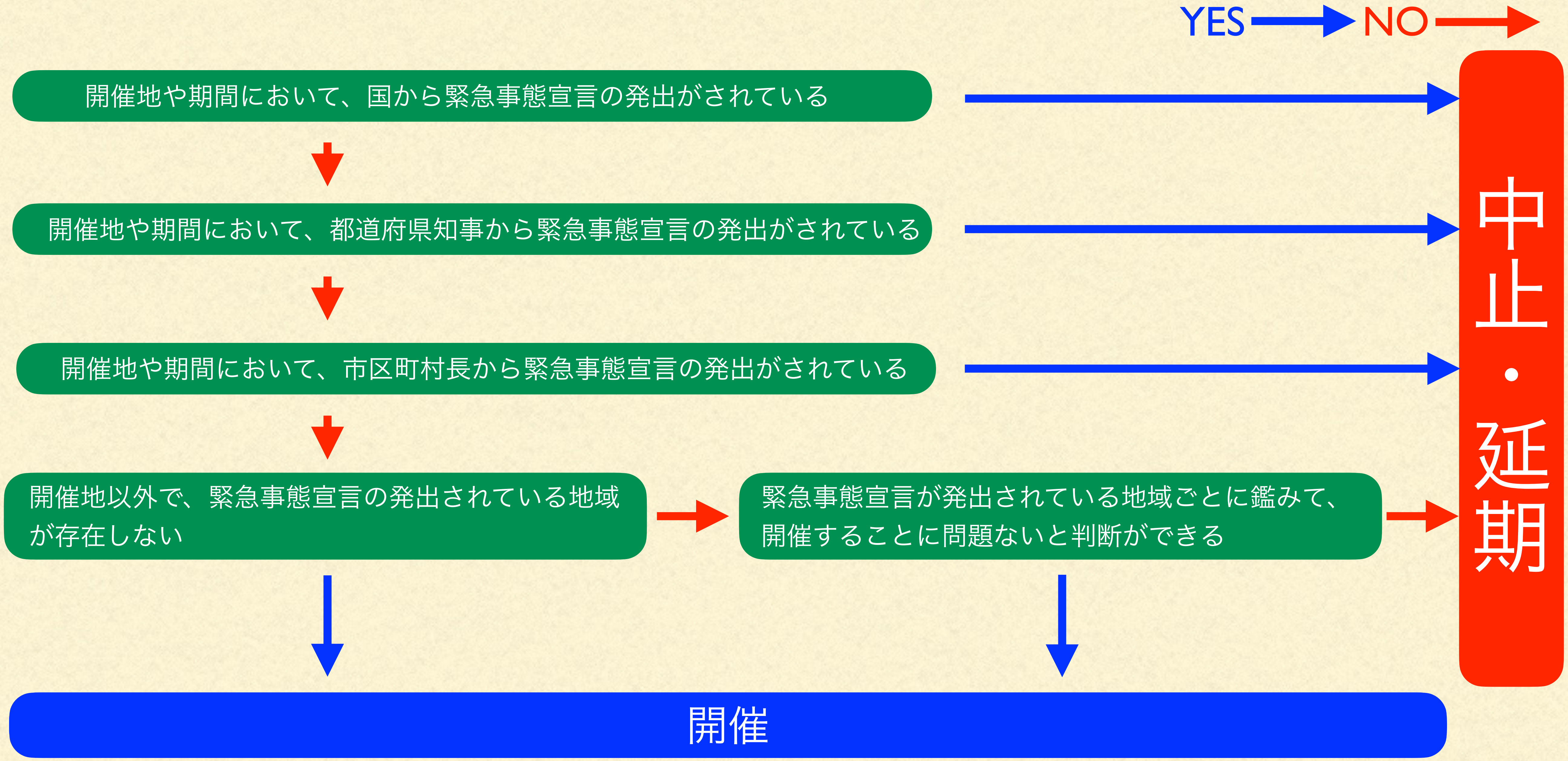
１４日前　健康チェック開始（検温等）

↓

大会

１２　大会・イベント開催決定フローチャート

＊このフローチャートの「新型インフルエンザ等対策特別特措法」に基づいております。



１３　当日の受付やスタッフについて

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置いたします
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加や入場しないように呼びかけます
  （状況によっては、発熱者を体温計などで特定し参加や入場を制限することも考えられる）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽いたします
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行います
- スタッフは全員、マスク着用を義務付けております
- スタッフは全員、朝の検温を義務付けております
- 受付場所での書面の記入を避けるようにいたします
- SHOP等で金銭の受渡しを行う場合は、トレーを介して行います（キャッシュレス決済を推奨）
- 当日の受付など、混雑が予想される事柄に関して、混雑緩和になるように体制を整えます
- 参加者から下記の事項を記載した内容をWEBもしくはその他の方法で提出を求めます
  （選手やチームスタッフなど参加者全員）
  - 個人情報（氏名、年齢、住所、電話番号、E-mailアドレス）
  - 参加２週間前の体温／当日の体温
  - 利用前２週間における以下の事項の有無

①平熱を超える発熱（おおむね３７度５分以上）　②咳・喉の痛みなどの風邪症状　③だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸症状）　④嗅覚や味覚の異常

⑤体が重く感じる、疲れやすい等　⑥新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触　⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

⑧過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

１４　イベント会場について

□　**手洗い場所の整備**（複数の人が触れると考えられる場所については、こまめに消毒する）

□　**選手・観客の管理**

①　選手・観客同士が密にならないよう、必要に応じて対応する

②　大声での声援を送らないことや会話を控えること周知する

③　会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する

１５　医療体制について

- **極力、医療従事者（医師／看護師）を配置する**

  医療に過大な負荷をかけることなく実施する

- **感染や感染疑いが出た場合の対応について**

  １：各地域の保健所に報告

  ２：各地域の保健所の指示にもとづき濃厚接触者の洗い出し

  ３：PCR検査および医療機関受診対象者の確認

  ４：大会参加者全員・スタッフに報告（個人情報保護法に基づき行う）

１７　大会／イベント終了後　体調不良者発生時　対応フローチャート

体調不良と対応

体調不良の状況（大会から14日以内）
①息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状
②比較的軽い風邪の症状が4日以上続く場合
↪ ③経過観察、再受診

→

相談窓口／医療機関
①すぐに相談／受診
②必ず相談／受診
③医療機関の指示

↓

大会主催者
①すぐに報告
②すぐに報告
③結果をすぐに報告

報告内容
・体調不良時の状況
時間的経過、体温、症状、医療機関の診断内容

●考え方と取り組み

大会終了後、体調不良となった場合の対応を想定したものです

①体調不良者は、新型コロナウイルスの疑いを含む感染者の認識を持つ

②大会終了後、14日以内に体調不良になった場合、医療機関を受診し、
　大会主催者に必ず報告する

③体調不良になって１４日間は、自宅で経過観察をする

④完治、回復後は大会主催者に報告する

⑤無理をせず、確実で臨機応変な対応を行う

新型コロナウイルスの初期症状関連情報（厚労省の資料から抜粋）
相談の目安：息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状（すぐに相談）
比較的軽いかぜの症状が4日以上続く場合（必ず相談）
感染の可能性のある症状（以下７つ症状が２つ以上ある場合としている）
・発熱　・頭痛　・寒気　・のどの痛み　・悪寒　・味覚または臭覚の異常　・筋肉痛

厚労省の相談窓口：０１２０-５６５６５３

１８　大会／イベント終了後　体調不良者発生時　報告内容

- **ご本人が陽性と判定されたとき、濃厚接触が疑われるときなど、１～２週間を遡っての行動記録が非常に重要です。**

- **濃厚接触の対象者を素早く、適切に判断できることで、チーム内での感染連鎖を防ぐことが出来ます。**

- **とくに記録していただきたこと**
  ・人が密集している密閉空間にいたこと。または人と密接する密閉空間にいたこと
  ・人混みに出かけたこと
  ・密接な距離で一定時間、食事や会話を行ったこと
  ・感染流行地へ旅行、または滞在したこと

- **記入例**
  ・氏名（性別）：小岩　太郎（男性）
  ・所属チーム名：アルティメットチーム　クラブジュニア
  ・記入日：8月1日
  ・主な行動
  7:00　起床
  7:30　朝食。自宅で家族と
  電車で移動（JR総武線新小岩駅8時43分発5号車乗車～錦糸町駅着～半蔵門線錦糸町駅9時7分発2号車乗車～二子新地駅着）
  10:30　練習　宇奈根多目的広場。チームメイト6名と（吉田、深野、上原、新里、本名、山口）
  13:00　昼食　練習場にてチームメイトと昼食
  電車で移動（東急田園都市線二子新地駅15時39分発2号車乗車～錦糸町駅着～JR錦糸町駅16時33分発5号車乗車～新小岩駅着）
  19:00~23:00 会食　狭い満員の中華屋で、飲食。飲酒あり。（林、永井、森重、三田、室屋、長谷川、小川、石川、など約20名）
  徒歩で帰宅
  24:00 就寝

なるべく細かく正確に記入して報告

１８　新しい生活様式（例）

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

□人との間隔は、できるだけ２ｍ（最低１ｍ）空ける。
□遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
□外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
□家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※　高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

□感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
□帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
□発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
□地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的生活様式

□まめに手洗い・手指消毒　□咳エチケットの徹底　□こまめに換気
□身体的距離の確保　□「３密」の回避（密集、密接、密閉）
□ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

□通販も利用
□１人または少人数ですいた時間に
□電子決済の利用
□計画をたてて素早く済ます
□サンプルなど展示品への接触は控えめに
□レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

□公園はすいた時間、場所を選ぶ
□筋トレやヨガは自宅で動画を活用
□ジョギングは少人数で
□すれ違うときは距離をとるマナー
□予約制を利用してゆったりと
□狭い部屋での長居は無用
□歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

□会話は控えめに
□混んでいる時間帯は避けて
□徒歩や自転車利用も併用する

食事

□持ち帰りや出前、デリバリーも
□屋外空間で気持ちよく
□大皿は避けて、料理は個々に
□対面ではなく横並びで座ろう
□料理に集中、おしゃべりは控えめに
□お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

□多人数での会食は避けて
□発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

□テレワークやローテーション勤務　□時差通勤でゆったりと　□ オフィスはひろびろと
□会議はオンライン　□名刺交換はオンライン　□対面での打合せは換気とマスク

※　業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることにご留意をお願いします。

参考文献

首相官邸

新型コロナウイルス感染症に備えて〜一人ひとりができる対策をしっておこう〜（首相官邸）

３つの密を避けるにはどうしたらよいか

厚生労働省

『新型コロナウイルス』とは、どのようなウイルスですか

新型コロナウイルスに関するQ&A

３つの密を避けましょう

手洗い、咳エチケット等（一般的な感染症対策について）

新しい生活様式

公益財団法人日本スポーツ協会

スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト

スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について

公益財団法人日本サッカー協会

JFA サッカー活動再開に向けたガイドライン（47都道府県サッカー協会／９地域サッカー協会向け）

公益財団法人日本プロサッカーリーグ

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

一般社団法人日本旅館協会

宿泊施設における新型コロナウイスル対応ガイドライン（第１版）

公開バージョン管理

1.２０２０年６月　２日　　第１版を公開

2.２０２０年７月１０日　　第２版を公開　（追加：ディスクゴルフにおける競技特性上の留意点）

3.２０２０年８月　６日　　第３版を公開　（追加：体調不良者発生時　対応フローチャート）
（追加：体調不良者発生時　報告内容）
（変更：大会・イベント開催決定フローチャート）